



令和 2. 360 号

【つくし園】

〒791-8041

松山市北吉田町

77-34

TEL(089)951-5331

FAX(089)951-5348

## 「冷凍うどん」



支援員 小出旺次郎

自宅で過ごすことの多い時期、料理に力を入れる方もいるのではないのでしょうか？私は無精な性格なので基本的に手軽なもので済ませがちですが、私は手軽な冷凍食品やインスタント食品に違和感を持っています。

それは有名店が監修したカップ麺、手軽にシェフの味、そんな謳い文句の多いお手軽食品は基本的には本物とは程遠い味であることです。決して不味い訳では無いのですが、それは別の方向性に特化した美味しさでは無いでしょうか？よく聞く話ですが「焼きそば」と「カップ焼きそば」を食べたいときの気分は別物といったように、インスタント食品と元の料理はまるで別の食べ物であると私は思います。

しかしそんな中、私はインスタントに作られて限りなく本物に近い食品を知っています。それこそが「冷凍うどん」です。レンジで温めても茹でてでも基本的に味に差異が無く、どのメーカーも一定の品質を保っています。どうでしょう？「うどん」と「冷凍うどん」を食べたいときの気分はおおよそ同じではないでしょうか。そう、冷凍うどんは別の方向性に進化した食品ではなく、真正正銘「うどん」という食べ物なのです。

これに気付いた時に私はインスタント食品への考えを改めました。私は店で食べる手間や値段を嫌がりインスタント食品で済ませていました。しかしそんな風に自分が妥協したと認める事を心のどこかで避けていた。その為に冷凍食品やインスタント食品は別の食べ物だと言いつつ、インスタント食品に付加価値を付けようとしていたのです。

しかし冷凍うどんの緻密な水分計算や味を損ない為の急速冷凍技術、そういった企業の努力を感じることで私はこのインスタント食品に対する認知的不協和から抜け出すことができました。

このことから私も自分の妥協という選択肢を正当化しようとするのではなく、人間として本物に近づけるために冷凍うどんメーカーのように努力し続けようと思えます。

## 6月の開園日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

・6月の土曜開園はありません。

## 6月の行事予定

- ・19日(金)・・・誕生会 たんじょうかい
- ・26日(金)・・・避難訓練 ひなんくんれん
- ・30日(火)・・・月末大掃除 げつまつおおそうじ



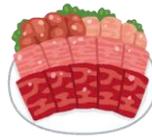
## お知らせ

つくし園の園庭と駐車場の工事を、  
アスファルトに舗装しました。

連休明けで散歩コースにゴミや雑草が増えていたので、  
職員と利用者の方で散歩がてら綺麗にするようにしています。  
普段からよく通る道なので綺麗にして歩きやすい環境  
を保とうと思います。



文責： 小出旺次郎 小松宴江



# 焼肉パーティー



例年なら青空の下でのバーベキューを計画しているこの時期ですが、今年度は外出は自粛…ということで、5月22日に園内での焼肉パーティーとなりました。

園内での実施という事で移動時間が省けたことから午前中は通常の活動をして、お昼から焼肉パーティーという日程で職員が会場の準備をしているのを見て、利用者の方もソワソワしながら楽しみにされている様子でした。

前日の食材の準備や会場の設営、食事の配膳など、例年は利用者の方と一緒に行っていましたが、今年は感染症予防のために職員が行っています。その分、利用者の方にも楽しんで頂けるようにグループ分けをして、メニューも趣向にあわせてグラタンやハンバーグ、お餅など様々な食材を班ごとに用意しました。

利用者の方も自宅やグループホームの中で過ごされていることが多くなりがちだったので、今回の焼肉パーティーで利用者の方同士の楽しそうな会話や顔、活動的な部分もたくさん見られて嬉しく思いました。

まだしばらくは外出を控える生活が続きそうですが、楽しんでいただける活動を企画していきたいと思っております。

# 大掃除

新型コロナウイルス感染拡大予防として、ゴールデンウィーク中の4月30日と5月1日を休園とさせていただきます。

利用者の方がいない園は静かで寂しいものですが、こそとばかりに職員たちが始めた大掃除。

特に普段後回しになりがちな換気口や換気扇、エアコンを徹底的にきれいにしました。

中には何年も開けてないのかな…という場所もありましたが見違えるようにきれいになりました。

きれいな空気を取り込んで、少しでも感染症の予防になるようにと、休み明けに来られる利用者の方たちの顔を思い浮かべながら、晴天の暖かな1日を汗だくになってがんばりました。



文責： 小出旺次郎 小松宴江